

# シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
総合的な探究の時間		1	1	/	1～10組

教科書		副教材	未来を拓く探究シリーズ 探究ナビ
			(株式会社ベネッセコーポレーション)

科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、
	自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための
	資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

科目の概要	1. 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
	2. 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
	3. 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	◎：課題を設定する方法を理解し、問いの周辺知識を十分持っている。 △：課題の設定する方法の理解と、問いの周辺知識が不十分である。	◎：研究の動機（目的）が十分に説明されていて、問いの形が端的に表現されている。 △：研究の動機（目的）が曖昧で、問いの表現も不十分である。	① ◎：強い好奇心を持ってテーマを探し、よりよい問いになるよう試行錯誤している。 △：よりよい問いになるような試行錯誤が不十分である。  ② ◎：自ら計画的に取り組む、提出期限に全く遅れがない。 △：提出期限に3日以上遅れがある。
評 価 の 方 法	・ワークブック ・レポート ・発表	・ワークブック ・レポート ・発表	・ワークブック ・レポート ・発表

# シラバス

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1    学    期	① 5月8日(木) 7限: 学年集会 ガイダンス ・今後のスケジュールを確認する。 ・探究活動の見本となる動画を視聴する。	・これから行う探究活動の概要を理解する。
	② 6月10日(火) 探究とは? ナビ: 探究の世界をのぞいてみよう	・探究プロセスのイメージを持つ。 ・探究に取り組む意義を感じる。
	③ 6月17日(火) 探究講演(1) (日本大学理工学部)	・講演から自ら設定する課題を考える。
	④ 7月17日(木) 探究講演(2) (立命館アジア大学)	・講演から自ら設定する課題を考える。
	⑤ 夏休み 探究課題3つ選定 (理由含む) ・SDGsのどの項目につながるかを考えて	・1学期の活動から、現段階で興味・関心のある課題を3つ選定する。
2    学    期	⑥ 9月30日(火) 探究体験(1) ナビ: 探究のプロセスをたどってみよう①	・「探究のプロセス」を体験を通じて知る。 ・今後取り組む探究で行うことをイメージする。
	⑦ 10月28日(火) 探究体験(2) ナビ: 探究のプロセスをたどってみよう②	・「探究のプロセス」を体験を通じて知る。 ・今後取り組む探究で行うことをイメージする。
	⑧ 11月18日(火) 課題設定準備 ナビ: ①興味のタネを見つけよう ナビ: ②興味のタネについて理解を深めよう	・自分の興味・関心を深掘りし、課題設定につながる興味のタネを発見する。
	⑨ 12月11日(木) 16歳の仕事塾  ⑩ 冬休み ・課題決定	・社会人講師の話から、自ら設定する課題を考える。  ・これまでの活動から、次年度行う課題を決定する。
3   学   期	⑪ 1月13日(火) 探究課題発表準備  ⑫ 2月24日(火) L.H.R+ 7限 ・探究課題発表 (クラス内で)	・Power Pointスライド1枚程度に次年度行う探究課題をまとめる。  ・⑪でまとめたスライドをクラス全体へ発表する。